

鹿児島県のバス

2024年9月報

■前後ドアのバス

発行者：バスフォーラム鹿児島 執印友之



前後ドアのバスとは、運転席横の前扉に加え、後輪のさらに後部、リアオーバーハング部分に扉を設けているバスのことを言います。

県内では、前後ドアのバスはほぼ全車が後乗り、前降り方式で運用されており、しまバスで後ドア締切で前ドア運用となっている事例があるものの、「後乗り」のバスとして考えても差し支えありません。

・現状

2000年、高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律（通称交通バリアフリー法）が施行さ

れ、通常の路線バスには、前後ドア（後乗り）のバスは事実上新たに使用できなくなりました。



現在、県内で使用されている前後ドアのバスは、法が施行された2000年以前に製造されたもので、やがてすべてのバスが、運行開始後25年を迎えようとしています。

一般的に、バスの部品供給は20年程度といわれており、今後急速に淘汰され、やがて消滅してしまうと予想されます。

・全国の状況

前中ドアのバスが、全国的なワンマンバスの標準となっているのに対し、前後ドアのバスは、好んで採用する事業者が限られ、地域的な偏りもありました。主に関西地区での活躍が目立ったほか、福島交通、東武グループ、群馬バス、静岡鉄道、松本電鉄、富山地方鉄道、両備バスなど、九州では長崎自動車などで採用されてきました。



・登場の歴史

鹿児島市街地でワンマンバスが登場したのは、1966（昭和41）年のこと。鹿児島市営バスは、前中ドアのバスを採用しました。地方部では、68年に南国交通が出水～水俣間が初

で、やはり前中ドア。前ドアのみのバスでもワンマン化は進み、鹿児島ではそのまま前後ドアのバスは登場しないかに思われました。

それから約10年が経ち、75年、鹿児島交通が鴨池港と山形屋バスセンターを結ぶバスを運行開始し、市街地のみを走るバスに、新規参入。これが、鹿児島初の前後ドアデビューとなります。

・長所と短所

ワンマンバスの場合、乗客の車内での誘導は運転席からの声掛けによるほかなく、基本的には、乗客の動線をバスのドアや座席配置で配慮しておく必要があります。

乗客の「流れ」を重視した場合、前後ドアであれば、一方向に統一でき、スムーズになります。ドア付近での滞留も起こりにくく、定員いっぱいまで、自然な流れで乗客を乗せることが可能です。

また、構造上、走行時のノイズが発生しやすいドアが前後に分散されることにより、車内では、前ドア（トップドア）並みの静粛性が確保されます。とくに、長距離を走るバスでは、前後ドアの方が疲れにくいと感じられます。

一方、すべての乗客がバスの長さ分、10m



鹿児島初の前後ドア 鹿児島交通鴨池港専用バス 撮影：T.Nishiyama

近くを歩かされることになり、乗降に時間を要します。エンジンルームに近い分、床の高さを下げることやドアの開口幅を広げることが困難です。たとえ、開口幅を確保できても、後輪の間を抜ける必要がある通路の幅を広げることが不可能で、車いすへの対応ができません。低床化、通路幅の確保の2点から、バリアフリー法への対応が困難となり、前中ドアがワンマンバスの標準とされました。

・各社の採用状況

鹿児島交通は、77年以降、桜ヶ丘、星ヶ峯と大型団地への乗り入れを果たし、市街地バスとして前後ドアのバスを次々投入していきます。82年からは、中型バスの採用時に、前後ドアを含めて投入するようになりますが、85年の4枚折戸車の採用で、いったん途絶えることとなります。



写真上、下共 撮影：T.Nishiyama

林田産業交通では、79年に千年団地線用に前中ドアのバスが投入されます。そのまま、同様のドアパターンが継続すると思われましたが、81年の中型バスの投入に当たり、前後



写真上 撮影：T.Nishiyama

ドアが採用されました。82年の増備車は始良ニュータウン線に専用され、86年の宮之城線廃止代替バスは、すべて中型、前後ドアとなりました。



さらに、特筆すべきこととして、花野団地線の増発用に、70年式の「西工カマボコ」に、後ドアを増設改造しています。この時



林田バスは後扉を増設改造して花野団地線に投入した 撮影：T.Nishiyama

期、他社も含めて、ドア増設改造車が数多く登場していますが、後ドアを設けたのは林田の5台のみでした。

南国交通では、79年に初めて前後ドアのバスを投入します。武岡ハイランドや西郷団地



撮影：人見恭司

への乗り入れで市街地のみを走る路線が拡大し、大型の都市型バスが必要になり、採用されたのがそれでした。以後、空港特急バスをドア増設により対応することで新車投入が限られ、そのまま87年の4枚折戸で途絶えました。一方、84年以降、中型バスには前後ドア



が採用され、88年の山野線代替バスまで毎年継続して投入されました。

4枚折戸の登場で、いったん採用されることがなくなった前後ドアのバスですが、08年以降、状況が変わります。いわさきコーポレーションでは、収益の確保のためとして、市営バスと競合する区間に新規路線参入し、車両を増備するとともに、経年車の代替にもすべて中古車を採用、大量の需要を賄うために、中古車でも4枚折戸の採用を守っていた一線を越え、当時、中古車市場で敬遠されがちだった前後ドアのバスの購入に踏み切りません。特に、12年以降購入した神戸市営バスは50台を超えており、現在でもそのほとんどが活躍を続けています。



奄美大島では、本土とは異なる状況がみられます。

市街地バスとして運行していた林バス産業



林バスは、前後ドアのバスを名瀬市街地に積極的に導入していた 撮影：T.Nishiyama

が、前後ドアの大型バスを71年から採用し、ワンマン運行を行っており、名瀬市街地を走るバスは後乗りが当たり前となっていたと思われる。

奄美交通では、82年に長崎バスから前後ドアの大型バス4台を中古で購入、その後も、



元長崎自動車 撮影：T.Nishiyama

親会社である鹿児島交通から中型バスの譲渡を受け、それがいずれも前後ドアだったことから、名瀬市街地を運行するバスに、前後ド



アがさらに増えていきました。

林バスは、事業を奄美交通に譲渡する直前の91年まで前後ドアの中型バスを投入し続けていて、引き継いだ奄美交通、道の島交通で活躍が続きました。

14年以降、いわさきグループ同様、しまバスでも毎年関西地区の前後ドアのバスの中古購入が相次ぎ、現在でも6台活躍が続いています。



JR九州バスでは、国鉄時代に、80年代前半までツーマン専用の中ドア車が新車投入され、その車両をワンマン化にあたって前ドア増設改造した経緯から、前中ドアのワンマンバスが標準となっていました。87年のJR化後に車両購入の方針が変わっていきます。89年には、初の前後ドアの大型路線車の採用に至りますが、収益の確保のために貸切バスへの事業拡大を模索する中で、貸切兼用としても使いやすい前後ドアが採用されたものと

推測されます。

また、超が付くほどのローカル区間には、小型バスが採用されるようになりましたが、いすゞのジャーニーQはフロントエンジンの採用により、後ドアの設置が可能となり、メーカー標準で小型でもツードアが実現した珍しい例です。



なお、前後ドア採用の前、国鉄末期の87年には大隅線代替バス用に4枚折戸がJR九州バスにもデビューしており、前後ドアのバスが主力となることはありませんでした。

■最近のバス関連の話題から 新紙幣発行に関する車内等での対応 について

鹿児島交通

7月3日から発行が開始された新紙幣の対応については以下の通り。

- ①バス車内・・・使用不可(旧千円札のみ使用可能)

**新紙幣の
両替・チャージは
できません。**



新紙幣の取扱いについて

毎度、南国交通バスをご利用いただき、ありがとうございます。
現在はバス車内での新紙幣の両替・チャージはできません。
ご利用のお客さまには当面の間、ご不便をおかけしますが、あらかじめICカードにチャージをしていただくか、旧紙幣または硬貨の準備をお願いします。
2024年9月以降、順次、新紙幣と新500円硬貨の対応を行う予定です。



- ②営業所・案内所窓口・・・使用可能

旧千円札・小銭のご用意または窓口・営業所等での積み増しのご協力をお願いします。新千円札でお支払いをされるお客様におかれましては、おつり金額分の払戻証明書乗務員が発行します。払戻証明書を最寄りの窓口までお持ちください。おつりをお返します。

鹿児島交通指宿地区の臨時ダイヤ

以下の日程におきまして乗務員不足が深刻のため、指宿地区にて一部路線を運休させていただきます。

ご利用のお客様におかれましては大変ご負担をお掛けしますが、何卒ご理解賜ります様よろしくお願い申し上げます。

7月1日～9月30日

対象路線及び対象便

- ・なのはな館～東大川線

なのはな館10:30発 東大川行

東大川12:05発 なのはな館行

- ・指宿～鹿児島空港線

指宿いわさきホテル15:30発 空港行

空港18:30発 指宿いわさきホテル行

鹿児島交通霧島神宮アクセスバス運行開始

7月20日より、霧島神宮アクセスバスの運

行を開始しました。時刻等の詳細につきましては、以下の通りとなります。

- ・運行経路

鹿児島空港→嘉例川駅→丸尾→霧島神宮→霧島神宮駅→鹿児島空港

- ・運賃

のったりおりたりマイプラン(全区間乗降自由)

大人¥1,100 小人¥550

現金/ICカード/クレジットカード

ードでは乗車できません

霧島神宮アクセスバス 運行開始!!

運行日	土日祝	毎日	
霧島神宮駅	7:35	16:00	
霧島神宮	7:48	16:13	
神話の里公園入口	7:53	16:18	・全区間乗降自由 ・のったりおりたりマイプランのみ
丸尾②	8:04	16:29	大人(中学生以上)¥1,100 小人(小学生以下)¥550
牧場	8:08	16:33	・現金/ICでは乗車できません
牧園総合支所	8:23	16:48	
塩浸温泉	8:28	16:53	
嘉例川駅	8:32	16:57	
鹿児島空港	8:43	17:08	

運行日	毎日	毎日	毎日
鹿児島空港	9:00	12:20	14:20
嘉例川駅	9:11	12:31	14:31
塩浸温泉	9:15	12:35	14:35
牧園総合支所	9:21	12:41	14:41
牧場	9:36	12:56	14:56
丸尾①	9:40	13:00	15:00
神話の里公園入口	9:51	13:11	15:11
霧島神宮	9:56	13:16	15:16
霧島神宮駅着発	10:09 10:42	13:29	15:29
鹿児島空港	11:17	14:04	==




・空港バス案内所
・鹿児島交通 国分営業所
・JR九州 みどりの窓口
・車内(神宮アクセスバスのみ)等にて販売しております

南国交通2種の乗り放題乗車券を8月1日発売開始

この度、弊社では「NORTH SATSUMA GREAT PASS」と「南国交通1日乗車券」の企画乗車券をスマートフォンアプリ(my route)限定で発売します。「NORTH SATSUMA GREAT PASS」は肥薩おれんじ鉄道株式会社ならびに出水駅蔵之元港間シャトルバス利用促進協議会との共同企画になります。肥薩おれんじ鉄道線沿線から見える九州西海岸の雄大な景色を味わったり、出水・天草ロマンシャトルバスで天草市に接続する蔵之元港までの車窓を眺めたり北薩地域の魅力をぜひお楽しみください。

あなたの移動は もっと自由に もっと楽しく

利用可能なデジタルチケット




ポイント1

お得なチケットが購入できる!

my routeアプリでお得なチケットや特典付きチケットを発売しています。

ポイント2

アプリの画面でそのまま乗れる!

my routeアプリでチケットが買えるのでチケット購入の手間や特約がなくなります。

ポイント3

地域ならではの情報が満載!

お出かけや観光に役立つ地域の店舗、イベント、観光スポットなどの情報を発信しています。

my routeについては ▶



さい。

商品名：NORTH SATSUMA GREAT PASS

<概要>

対象の路線で連続する3日間乗り放題となる企画券。一般路線バス（出水市、薩摩川内市、阿久根市、さつま町、伊佐市、湧水町）、空港シャトルバス（出水線、川内線、大口・水俣線）、出水・天草ロマンシャトルバス、肥薩おれんじ鉄道（川内駅～新水俣駅）

※但し、都市間高速バス、自治体が委託するコミュニティバスは除く。

大人7,000円 小人設定なし

払戻手数料は1枚につき660円になります。

※購入後「利用開始」を押さない場合、60日間購入状態が保持されます。

商品名：南国交通1日乗車券

<概要>

南国交通の一般路線バスを1日間乗り放題となる企画券。

※但し、都市間高速バス、空港シャトルバス、出水・天草ロマンシャトルバス、自治体が委託するコミュニティバスは除く。

大人1,500円 小人750円

払戻手数料は1枚につき330円になります。

※購入後「利用開始」を押さない場合、60日間購入状態が保持されます。

しまバス、沖永良部バス企業団JAL MaaSでモバイルチケット販売

しまバスと沖永良部バス企業団の「路線バス乗り放題券」が、「JAL MaaS（ジャルマース）」にて購入可能になりました。また、JAL MaaSにて購入すると、JALのマイル（20マイル）が貯まります。

※飛行機をご利用しない場合も「JALのマイル」が貯まります。

しまバス24年4月1日ダイヤ改正

乗務員の労働環境改善法令(改善基準告示)に対応し、乗務員の健康管理や長時間労働防止などお客様に安心・安全に御利用いただくための取り組みとして、ダイヤ改正が実施されました。

主な変更点

奄美空港～古仁屋線(赤木名一せとうち海の駅)の直通バスがなくなります。

乗り継ぎのほとんどは “しまバス本社前” で乗り換えとなります。

空港線、古仁屋線ともに名瀬中心部循環経路が変更され、”港町待合所前” と ”奄美観光ホテル前” 両バス停は止まらなくなります。

名瀬新港～せとうち海の駅(古仁屋)線の廃止に伴い、「名瀬新港」バス停も廃止します。



名瀬市内線も運行回数と時刻の変更があります。

種子島の和人組5月9日社名変更

昭和37年の創業以来皆様方にご愛顧頂いていた『有限会社和人組』から『株式会社GLOBAL THINK』に変更し、建設業に特化したイメージを払拭し、エネルギー事業、バス事業についても、広く皆で考え、これまで以上に地域の皆様方の満足度向上に向けて邁進しようと言う社名に変更しました。これからも『地域の皆様方と共に』を企業理念として愛される企業を目指しますので、何卒、倍旧の

ご指導ご鞭撻を今後も賜りますようお願いいたします。

始良市コミュニティバス利用無料実施月間の実施

実施目的

公共交通の認知度を高め、新たな需要の創出につなげるとともに、本市地域公共交通への理解と愛着を深め、公共交通を身近に感じ、また、市内を走る路線を知るきっかけとしてもらうことを目的とし実施する。

対象期間：8月1日～31日

対象路線：始良市が委託運行しているコミュニティバス（10路線）

1. ふるさとバス蒲生・春花線（東回り・西回り）
2. 始良市3庁舎間巡回バス
3. 加治木地区循環バス（東回り・西回り）
4. 重富地区循環バス（重富駅・始良ニュータウン線）
5. 蒲生地区巡回バス（米丸・柊野線）
6. 蒲生地区巡回バス（小川内・漆線）

7. 蒲生地区巡回バス（西浦・火の宇都線）
8. 蒲生地区巡回バス（小川内・西浦線）
9. 蒲生地区巡回バス（くすの湯・久末線）
10. 蒲生地区巡回バス（蒲生・山田・帖佐線）

対象者：全ての利用者

料金：無料

始良市コミュニティバスが 8月限定

無料!!

この機会にバスに乗ってみませんか？

買い物に！
お出かけに！
始良市探検に！

実施期間	R6.8.1(木)～R6.8.31(土)
対象路線	<ul style="list-style-type: none"> ①ふるさとバス蒲生・春花線(東回り・西回り) ②始良市3庁舎間巡回バス ③加治木地区循環バス(東回り・西回り) ④重富地区循環バス(重富駅・始良ニュータウン線) <p style="margin-left: 20px;">蒲生地区巡回バス</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑤米丸・杵野線 ⑥小川内・漆線 ⑦西浦・火の宇都線 ⑧小川内・西浦線 ⑨くすの湯・久末線 ⑩蒲生・山田・帖佐線 <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 20px;"> <p>時刻表・路線図は コチラから</p> </div>

※対象路線は、市が委託運行している上記コミュニティバスに限ります。運行事業者が独自に運行している自主運行路線バスは該当しません。

【問合せ先】
始良市役所企画部地域政策課 TEL:0995-66-3121(直通)

知名町がホテルにEV送迎バス導入

知名町が経営する「おきえらぶフローラルホテル」に導入されたEV（電動）バスの運行開始セレモニーが5月23日、同ホテルであった。関係・協力する企業、団体などから約40人が出席。排出ガス削減による環境負荷低減や地域の持続可能な発展への貢献に期待を込めた。

同町は22年、和泊町と共に環境省の脱炭素先行地域に選定され、公共施設への再生可能エネルギー（再エネ）導入や車両の電動化などを進めている。今回のEVバス導入は、町が排出するCO2の約3分の1を占める運輸部門の脱炭素化を推進するとともに、島内外の多くの人が利用するバスをEV化することで、町

の脱炭素の取り組みをPRする狙い。

九州電力（福岡県）と芙蓉総合リース（東京都）がカーボンニュートラル社会の実現に向け、EVバスを定額制（サブスクリプション）で貸し出す「九電でんきバスサービス」の提供を受けた。事業費は約7千万円で、脱炭素先行地域事業の交付金を活用。充電設備導入や保守サービスなどを含む8年間の契約となっている。九電によると、同サービス提供は知名町が初めて。

乗車定員は29人。主に港や空港まで同ホテル宿泊客を送迎するほか、冠婚葬祭等でホテルを利用する島民の送迎利用も想定している。25年度以降に計画されている同ホテルへの太陽光発電設備設置後は、再エネ電源による充電を行う予定。非常災害時はEVバスを電源として活用することも可能。

この日のセレモニーでは赤地邦男副町長が「宿泊者に快適な移動とともに環境に優しい交通手段を提供し、地域の持続可能な発展に寄与することができると確信している」とあいさつ。協力企業を代表して九州電力の豊田仁コーポレート戦略部門インキュベーションラボ長は「知名町、島のカーボンニュートラル実現に向けて一翼を担うことができれば幸い」と述べた。

セレモニー参加者を対象に体験試乗会もあった。

現代自動車のEVバス 世界自然遺産の屋久島で運行へ

現代自動車は7月23日、東京都内のホテルで岩崎産業（鹿児島市）と18日に中型EVバス「エレクトシティタウン」5台の購入意向書を締結したと発表した。同意向書は本契約に先立ち、一部の具体的な契約条件を除いた大枠での相互合意事項を定めたもの。

エレクトシティタウンは今年10～12月期に発売され、現代は来年1～3月期までに計5台を岩崎産業に供給する。現代が日本にEVバスを

供給するのは今回が初めて。

岩崎産業が購入する同バスは世界自然遺産に登録されている屋久島で運行される。

岩崎産業の岩崎芳太郎社長は、日本では中国製のEVバスも販売されているが、品質信頼度の高い現代自動車のEVバスを選択することになったとし、今後屋久島を運行する車両はすべてEVに交換する計画と述べた。

エレクトリシティタウンは全長約9mの中型低床EVバスで、容量145kWhのバッテリーと最高出力160kWのモーターを搭載する。航続距離は220km以上になる予定。

今年5月には屋久島のバス路線で最も険しい二つのコースを使った走行テストが行われた。

現代は業界最高レベルのアフターサービスを提供するためにも努力している。95%以上の部品を2日以内に納品できる在庫管理システムを整備し、現地の保険会社と協力して頻繁に損傷する部品については交換費用の一部を一定期間、免除する案を検討している。

現代は今後、エレクトリシティタウンに続き、日本でEV商用車の販売も進めていく方針だ。現代は22年の「アイオニック5」を皮切りに、日本でEVを販売しているが、乗用車のみ扱っている。

現代の関係者は「世界自然遺産に選ばれた屋久島に現代が日本で初めて販売するEVバスであるエレクトリシティタウンを供給することになり、さらに意味深い」とし「EV化を先導するブランドとしての地位を固め、EVモデルの発表を続け、現地の顧客に合わせたEVライフの価値を提供すると同時に、日本の温室効果ガス排出量削減政策にも寄与するよう努力する」と述べた。

9月末に路線バス撤退の長島町、公用車で代替運行

長島町内を走る南国交通の路線バスが9月末で廃止されることを受け、同町は10月1日

から公用車で代替バス運行を始める。8月23日に開く町議会臨時会に、24年度分の事業費1103万円を含む一般会計補正予算案を提案。当面は無償とする方針で、町企画財政課は「持続させるためには有償運行が必要。条件が整い次第、切り替える」としている。

同課によると、ルートと停留所は南国交通の路線を踏襲し、平尾車庫～黒之瀬戸大橋そばの道の駅「だんだん市場」を東回り（鷹巣経由）と西回り（指江経由）で結ぶ。いずれも平日と土曜日に1日2、3本ずつで日曜日は休み。車両は、町が所有する45人乗りと29人乗りのバス2台に降車ボタンを設けて使用する。

運行はNPO法人ながしま地域活性化推進機構（同町浦底）に委託する。同NPOによると、運転手8人は50、60歳代で、うち4人を新たに雇用した。全員が大型免許を取得しているが、旅客運送に必要な2種免許は持っていないため、今後、交通空白地有償運送の講習を受ける。

同NPOの川添英一代表理事は「交通手段がなくなれば住民が困る。役に立てるならと、手を挙げた。安心して乗ってもらえるよう努める」と話した。町は事業費に人件費や講習費、燃料費を盛り込む。9月中に住民説明会を開く。

南国交通は、乗務員確保が困難なことや新型コロナウイルス禍による経営悪化などを理由に、同町と阿久根、出水を結ぶ路線バスを9月末に、町内巡回バスを25年3月末に廃止する。町内に高校はなく多くの生徒が阿久根や出水、薩摩川内市までバスの乗り継ぎやバイクで通学しており、影響が懸念されていた。

しまバス、今夏も大浜海水浴場臨時バス運行

しまバスでは、夏休み期間中こしゅく第一公園～大浜間の臨時バスを運行しています。かつて、各地でみられた海水浴場臨時バス

大浜線 時刻表 令和6年7月20日～9月1日（夏休み期間のみ）

○ 奄美空港・龍郷町・市街地 → 大浜

○ 大浜 → 市街地・龍郷町・奄美空港

乗車停留所	行	1	2	3
		(毎日)	(毎日)	(毎日)
奄美空港		8:47	10:15	13:15
土浜		8:54	10:24	13:24
ばしゃ山		8:58	10:28	13:28
赤尾木		9:01	10:31	13:31
大島紬村入口		9:03	10:33	13:33
龍郷町役場前		9:08	10:38	13:38
鳩浜		9:27	10:57	13:57
しまバス本社		9:36	11:06	14:06
名瀬郵便局前		9:39	11:09	14:09
ウエストコート前		9:41	11:11	14:11
長浜		9:47	11:17	14:17
朝仁		9:52	11:22	14:22
こしゆく第1公園		9:58	11:28	14:28
お乗りかえ		↓	↓	↓
乗車停留所	行	大浜	大浜	大浜
こしゆく第1公園		10:10	11:40	14:40
大浜入口		10:14	11:44	14:44
大浜		10:17	11:47	14:47

乗車停留所	行	1	2	3
		(毎日)	(毎日)	(毎日)
大浜		12:30	15:30	17:50
大浜入口		12:33	15:33	17:54
こしゆく第1公園		12:37	15:37	17:57
お乗りかえ		↓	↓	↓
乗車停留所	行	奄美空港	奄美空港	平田町奥又
こしゆく第1公園		12:46	15:46	17:59
朝仁		12:52	15:52	18:05
長浜		12:57	15:57	18:10
ウエストコート前(ホテル側)		-	-	18:16
名瀬郵便局前(郵便局向い側)		-	-	18:18
しまバス本社		13:07	16:07	
名瀬郵便局前(郵便局側)		13:10	16:10	
ウエストコート前(ホテル側)		13:12	16:12	
鳩浜		13:21	16:21	
龍郷町役場前		13:40	16:40	
大島紬村入口		13:45	16:45	
赤尾木		13:47	16:47	
ばしゃ山		13:50	16:50	
土浜		13:54	16:54	
奄美空港		14:03	17:03	

※ 大浜発3便目は、平田町奥又行きと接続します。
奄美空港方面へは、名瀬郵便局前（つむぎのしほ側）で降車後、道向かいの名瀬郵便局前（サンドイッチカフェ側）に移動していただき、佐仁行きをご利用ください。

(平日)	(土日祝日)
佐仁空港経由	佐仁空港経由
18:59	18:46
-	-
19:08	18:55
19:32	19:19
19:37	19:24
19:39	19:26
-	-
-	-
20:07	19:54

 **0570-004084(まんまるしまバス)**

も、県内では大浜線を残すのみとなっています。

■ 最近の新規登録・移籍車



鹿児島200あ・592/さんまりん観光



鹿児島200あ・599/さんまりん観光



鹿児島200あ・602/さんまりん観光



鹿児島200あ・603/さんまりん観光



鹿児島200あ・606/川内観光交通 F



鹿児島200か・2477/鹿児島交通 B



鹿児島200あ・608/南国交通観光 F



鹿児島200か・2480/種子島井元観光



鹿児島200あ・621/南国交通観光 R



鹿児島200か・2483/鹿児島交通



鹿児島200か・2464/さんまりん観光



鹿児島200か・2508/種子島・屋久島交通

写真提供 B:バス好きりんりん F:ふじさん R:ロケット

【参考文献等】ホームページ:

いわさきグループ/南国交通/しまバス/GLOBAL THINK

始良市/南海日日新聞/gooニュース/南日本新聞

書籍:バス車両の進化を辿る 鈴木文彦著 グランプリ出版